

# 株式の状況 (2024年9月30日現在)

## 株式の状況

発行済株式総数	53,090千株
株主数	11,746人

## 大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,163	8.87
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,832	3.90
日本生命保険相互会社	1,610	3.43
明治安田生命保険相互会社	1,599	3.40
損害保険ジャパン株式会社	1,180	2.51
滋賀銀行従業員持株会	1,109	2.36
京都中央信用金庫	1,000	2.13
立花証券株式会社	802	1.70
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	712	1.51
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	700	1.49
計	14,711	31.34

※当行は自己株式6,156千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は11.60%)を所有しておりますが、上記大株主の状況には記載しておりません。  
※持株比率は発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合です。

# 株式のご案内

## 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

## 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

## 公告方法

電子公告により当行ホームページ(<https://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 単元株式数

100株

## 基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

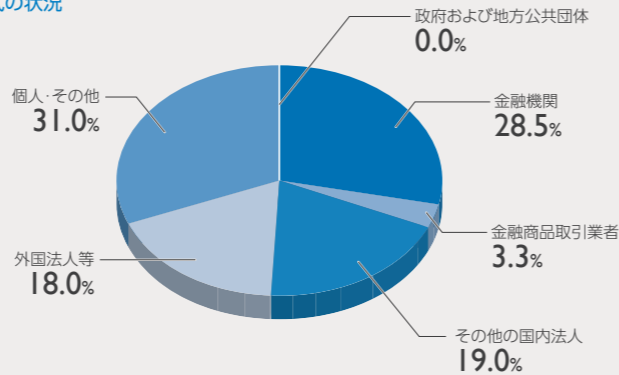
中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

## 株式の所有者別状況

※単元未満株式は含まれておりません。

### ●株式の状況



## 株主還元方針

当行は「三方よし」で地域を幸せにする」のパーパスのもと、健全性、成長投資、株主還元をバランスよく運営する「三方よし」の資本政策をベースに、出来る限りの株主還元を行うことを基本方針としております。第8次中期経営計画期間(5年間:2024年4月~2029年3月)の株主還元につきましては、配当と自己株式取得合計の株主還元率40%を目安に取り組んでまいります。

## 株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 郵便物送付先/各種お問い合わせ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

### ●各種事務に関するご照会

電話0120-094-777(通話料無料)

(受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く))

### ●ホームページアドレス

<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>  
三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

## 株式に関する各種手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

# 滋賀銀行データ (2024年9月30日現在)

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	1933年10月1日
総資産	7兆5,456億円
預金残高(※)	5兆8,195億円(譲渡性預金含む)
貸出金残高(※)	4兆5,040億円
資本金	330億円
従業員	1,928人
店舗数	133カ店(うち代理店33カ店)

※期末残高を記載しています。

## 連結子会社

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務計算受託業務、事務代行業務、不動産管理業務、現金精査・整理、ATM管理業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社 <sup>※1</sup>	リース・投資業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務
株式会社しがぎんエナジー	再生可能エネルギー関連業務

※1 2024年10月1日付でしがぎんリース・キャピタル株式会社はしがぎんリース株式会社に社名変更いたしました。

※2 2024年10月1日付で株式会社しがぎんキャピタルパートナーズ(当行100%出資子会社)を設立いたしました。

「三方よし」で地域を幸せにする  
Sustainability Design Company

# SHIGA BANK

第138期

# 事業のご報告

2024年4月 1日~2024年9月30日

**滋賀銀行** <https://www.shigagin.com>

発行/2024年12月 編集/滋賀銀行 総合企画部サステナブル戦略室 広報グループ 電話/077(521)2202



環境大臣省認定  
エコ・ファースト企業



LINE



Facebook

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

今年は「金利のある世界」が始まり、為替相場や株価の急激な変動に見舞われました。インバウンド需要が回復傾向にある一方で、物価高や人手不足の影響なども懸念されます。景気の先行きに不透明感はありますが、当行グループは、さまざまな資本を活用し、お客さまの課題解決や地域の成長に資する投資を通じ、地域経済の活性化に努めております。

さて、当中間期の親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比37億円減の87億円となりましたが、預金残高、貸出金残高はそれぞれ増加し、順調に推移しております。

今年度からスタートした第8次中期経営計画(2024年4月~2029年3月)では、お客さま・地域の持続可能な成長をデザインする「インパクトデザイン」を基本戦略の一つに掲げました。4月にエネルギー事業会社「株式会社しがぎんエナジー」を、10月には投資専門子会社「株式会社しがぎんキャピタルパートナーズ」を設立し、再生エネルギーや事業承継など社会的課題の解決に資するインパクトを生み出す事業を展開しております。

当行グループは、「三方よし」で地域を幸せにする」のパーパス(存在意義)のもと、地域社会と経済の発展に貢献してまいります。皆さまにはこれからも、より一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2024年12月

取締役頭取

**久保田真也**

# 滋賀銀行グループの理念体系



# TOPICS

## TOPICS①

### 株式会社しがぎんエナジー、株式会社しがぎんキャピタルパートナーズを設立

4月1日(月)にエネルギー事業会社「株式会社しがぎんエナジー」(代表取締役・梅原大輔)を、10月1日(火)に投資専門子会社「株式会社しがぎんキャピタルパートナーズ」(代表取締役・村田知之)を設立しました。

「株式会社しがぎんエナジー」は、GX(グリーン・トランスフォーメーション)の取り組みを通じて地域の課題をエネルギーの観点から解決し、経済と環境の好循環を生み出すことを目指します。具体的な活動として、企業向けの脱炭素コンサルティングや太陽光発電所の運営を中心に、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消の仕組みづくりに取り組みます。

「株式会社しがぎんキャピタルパートナーズ」は地域の社会的課題の一つである事業承継支援から取り組み、将来的には事業再生支援、ベンチャービジネス会社および地域活性化事業会社の支援・育成へと投資範囲を拡大し、専門性の向上と機能強化を図ります。

当行グループはこれからも、「三方よし」で地域を幸せにするのパーパス(存在意義)のもと、さまざまな取り組みを通じて、地域におけるポジティブインパクトの創出とネガティブインパクトの低減を図り、持続可能な地域社会の実現に努めます。



## TOPICS②

### 林野庁「森林×ACTチャレンジ2024」J-クレジット部門で優秀賞を受賞

当行は、10月9日(水)、林野庁が主催する「森林×ACTチャレンジ2024」のJ-クレジット部門において、「優秀賞(林野庁長官賞)」を金勝生産森林組合様と共同で受賞し、表彰されました。

これは、当行の寄付スキーム「未来よし+」を通じて金勝生産森林組合様より購入したJ-クレジットを、「びわ湖マラソン」等に提供することでCO<sub>2</sub>のオフセットに活用し、そのクレジット収益を琵琶湖の水源となる森林において動植物にも配慮した整備に活用した取り組みが評価されたものです。

当行はこれからも、「未来よし+」を通じて購入したJ-クレジットを地域イベントのカーボンオフセット開催に活用いただき、脱炭素社会の実現に向けた啓発につなげていきます。



# 第8次中期経営計画

## 基本戦略

**インパクトデザイン**

お客さま・地域の持続可能な成長をデザイン

- 付加価値の高い金融取引・コンサルティングの提供によるお客さまの課題解決
- 社会的課題の解決を通じた地域の発展、活性化
- 新規事業へのチャレンジによる新たな価値創造

**ベース for グロース**

経営基盤の強化

- 収益の多様化(有価証券運用・ファイナンス戦略)
- データドリブン経営の実践
- 経営インフラの強化(AI活用、DX化、店舗・チャネルの最適化)

**ヒューマンファースト**

人的資本の最大化

- Design人材の育成
- ワークライフインテグレーションの実現
- 「挑戦」と「称賛」の企業文化の醸成

**+X** 前中期経営計画から深化させる取り組みに加え、成長の角度を変えるためにトランスフォーメーション="+X"していきます。

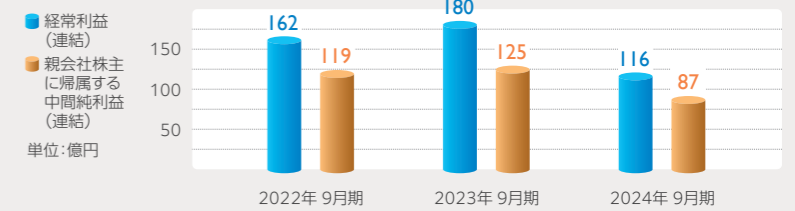
達成指標		2029年3月計画	2024年9月末実績
サステナビリティ達成指標	インパクトデザイン	地域の成長を支える投融資額 (期間累計) 1兆2,000億円	1,058億円
		お客さまの夢や事業をサポートする件数 (期間累計) 30,000件	3,504件
		地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額 (期間累計) 7,000億円	626億円
ベース for グロース	稼ぐ力の向上に向けた新たなファイナンス手法による投融資残高	7,500億円	3,797億円
	お客さま価値の創造と当行グループの業務変革につなげるDXへの取り組み	定性評価	定性評価
	カーボンニュートラル社会の実現に向けたGHG排出量削減(Scope 1、2)	ネットゼロの達成	年間評価
ヒューマンファースト	人的資本最大化のための従業員エンゲージメント向上(肯定的割合)	持続的向上	年間評価
	価値創造の主役として、地域の未来へ挑戦できる人材を育成するための投資額	2023年度対比倍増(従業員1人当たり30万円/年)	年間評価
	スキルアップやキャリア形成に向けて自律的に挑戦した人数	(期間累計) 2,000名	(2024年9月期) 325名
財務指標	ROE(連結)	5%以上	(2024年9月期) 3.61%
長期的挑戦指標	ROE(連結)	8%以上	(2024年9月期) 3.61%

## 業績ハイライト

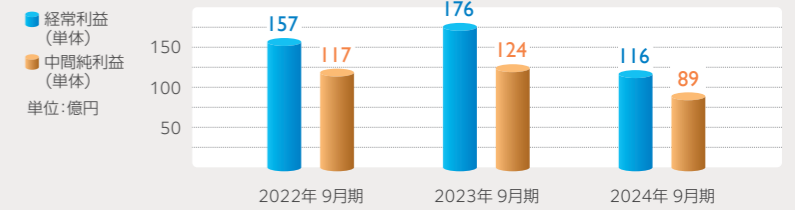
### 業績ハイライト(単体)

- 貸出金利息が前年同期比15億円増加、有価証券利息配当金も同36億円増加し、資金利益は同45億円増加しました。
- 役員取引等利益が前年同期比1億円減少、その他業務利益も同25億円減少しましたが、業務粗利益は同19億円の増加となりました。
- 経費は前年同期比17億円増加しましたが、実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は同1億円の増益、業務純益も同8億円の増益となりました。
- 臨時損益は、株式等関係損益の減少、与信コストの増加を主因に、全体で前年同期比67億円減少し、経常利益は同59億円の減益となりました。
- これらの結果、中間純利益は89億円となり前年同期比34億円の減益となりました。

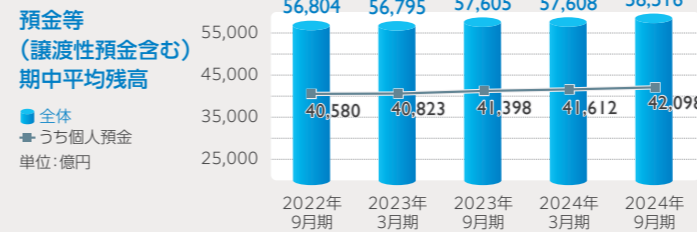
### 経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益(連結)



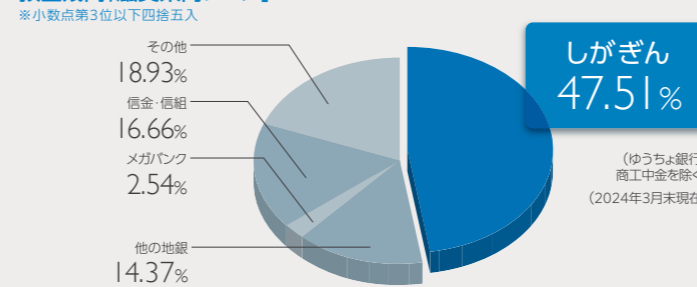
### 経常利益・中間純利益(単体)



## 預金等



## 預金残高「滋賀県内シェア」



## 貸出金



## 貸出金残高「滋賀県内シェア」

